

発刊にあたって

地域公共人材総合研究プログラムは、研究科横断型大学院修士課程として13年間の歴史を持つNPO・地方行政研究コースに、新たに経営学研究科の参加を得て、法学・政策学・経営学の3つの大学院の共同運営研究プログラムとして2016年4月にスタートしました。

本大学院の特徴は大きく3つあげられます。1つは複数の研究科による共同運営です。2つは、広く地域社会に開かれた大学院であるということです。本大学院は、これまで自治体、NPO団体及び経済団体等と地域連携協定を結び、すぐれた実務能力と豊富な社会経験をもつ大学院生を積極的に受け入れてきました。3つは、21世紀の自治・分権社会をになう「地域公共人材」の育成を進めていることです。地域公共人材とは、グローバルな視野をもちつつ、暮らしの現場である「地域」(ローカル)に足場をおいて考え、行動する人材つまりグローカルの人材ということです。

本書は、前身の「NPO・地方行政研究コース」開設以来、本大学院における特色ある科目である「地域リーダーシップ研究」(全国の先駆的自治体の首長やNPOの代表による講演と討議)と「先進的地域政策研究」(全国の先進的政策を進めている自治体・NPOの責任者からの講演と討議)の内容を講演記録として編集・発刊したものです。

2018年度は地域リーダーシップ研究として、篠山市で地域資源を活かした創造的なまちづくりをリードされている一般社団法人ノオト代表理事の今野幸雄様をはじめとする3人の皆様、先進的地域政策研究として、横浜市でデータを活かした先進的な都市づくりに取り組まれている横浜市ICT専任職の石塚清香様をはじめとする3人の皆様、合わせて6人の皆様から、今後の地域づくりを考えるうえで非常に示唆に富む御講演を賜りました。

本書が例年同様、21世紀における市民自治と持続可能な地域社会実現の方向性をしめす資料として活用されることを期待いたします。

地域公共人材総合研究プログラム
運営委員長 白須 正